



令和6.9月411号
 【つくし園】
 〒791-8041
 松山市北吉田町
 77-34
 TEL(089)994-8636
 FAX(089)994-8637



念ずれば花開く

生活支援員 岡本 健一

表題の詩を「存じでしょうか。坂村真民先生の詩です。その意味とは何事も一生懸命に祈るように努力をすれば自ら道が開け夢や目標が叶うという意味です。その言葉に「今」を大切にしている懸命に生きなければ花は開かないということですね。

真民先生は熊本県出身ですが終戦後愛媛県砥部町に移住し高校の教師として国語を教え、私も授業を受けた一生徒でした。その授業は教科書の詩に関しては熱心に詳しく解説されるがなかなか進行が遅く眠気が強かったと言った生徒が多かったと当時を思い出します。もっと真面目に聞けば良かったと思っています。

さて知人からの年賀状に「念ずれば花開く」と書かれており、私が真民先生に教えてもらったことを話すと何と凄いなと有名人であることを初めて知りました。色々調べてみると阪神タイガースの野村監督が座右の銘にしており、全国の寺院や教育機関などで座右の銘の石碑を設置していることに大変驚きました。

また何年前か前に同級生に会う機会があって、その人が真民先生を尊敬され教師を退職後いろいろな講演会に出席し、全国にある石碑のいくつかは設置のボランティアをしたと話をしていました。その石碑は日本各地をはじめ全世界に七九〇余基ありとれほど共感、感銘されていることを改めて知りました。

そして名誉市民でその功績を称え二〇一三年に坂村真民記念館を開館しました。三女の婿である西沢館長の講演会では真民さんの詩は「毎日を必死に生きようとして頑張っている人、中でも障がいのある人らに少しでも希望を持ち、前を向って歩こうと努力した」と書いている」と言われ差別なく皆に平等に接した社会を目指して欲しいと願っていることを話わていました。

先日久しぶりに記念館に行ってきました。真民ファンが全国から見学に来られ、「自分に厳しく、周りの人には優しい」生き方をし、何事もポジティブに考え、勇気付ける詩に励まされました。真民さんの人間としての深い愛情や家族への強い絆があり昭和にタイムスリップしたようで何かほっこりする時間を過ごすことが出来ました。皆さんも機会があれば行ってみればいかがでしょうか。

9月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	7	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・21日土曜日は開園日です。

ティータイム



毎月第3土曜日のクラブ活動後にティータイムという時間があり、利用者の皆さんにお菓子やジュース、コーヒーが良い方はホットコーヒーを用意して食べたり、飲んだりしてリラックスしています。
 今回のお菓子はキャラメルコーン、チョコレート、ビスケットを用意して、ジュースはコーラ、オレンジジュース、カルピスを用意しました。利用者の皆さんがホッと一息つける時間でもあり、笑顔がみられる瞬間でもあります。
 さて来月はどんなお菓子が出てくるのでしょうか？

9月の行事予定

- ・13日(金)・・・誕生会
- ・26日(木)・・・集団検診
- ・27日(金)・・・避難訓練
- ・27日(金)・・・月末大掃除
- ・9月下旬～10月にかけて



一日園外活動を予定しています。



夏祭り♪♪



8月23日金曜日 約2年振りに夏祭りをつくし
園内で開催しました。今年で4回目の開催となる夏祭りですが、年間の行事の中でも特に人気の高い行事となっております。何日も前から利用者の皆さんも楽しみにされている様子でした。

まずは皆さんが気になる食べ物のメニューです。今年焼そば・から揚げ・フライドポテト・ポテトサラダ・スナック菓子というラインナップです。

今回も祭り開催と同時にお渡ししたチケットを持って売り場で商品と引き換えるシステムです。皆さん2年振りにもかかわらず、スムーズにチケットを渡して引き換えていました。そして、いざ食べ進めると自然と笑顔になり「美味しい!」「旨かった!」など大好評でした。さらに祭りのBGMと創作活動で制作した飾りつけに、より食欲をかき立てられている様子でした。



食事を済ませた後は、法被を羽織りさらにお祭り気分を高めてゲームに移ります。

※写真の法被は、開園当初に作ったものの為、旧法人名となっています。ご了承ください。

恒例のスイカ割りゲームでは今回職員同士で相談し、よりリアリティーを追求したスイカ（ビーチボール）を作成しました。いざ、ゲームが始まると目隠ししてスイカを割る利用者さんは「真っすぐ!」「右!右!」などの周りの声を頼りにスイカを叩きます。そして見事スイカに命中すると大歓声が起こりました。一通りゲームが終わると本物のスイカが登場。おいしく頂きました。そして、その後にアイスクリームも食べました。

次はくじ引きです。今回は創作活動で作ったコースターの裏に番号が記入されており、その順番で景品を選びます。どの景品にしようか、じっくりと選択されている方や、満面の笑みで景品を手にする方もいらっしゃいました。

そして最後に炭鉾節を踊り、今年の「夏」を皆で満喫しました。無事に夏祭りを開催出来て嬉しく思います。職員も利用者さんの喜ぶ顔を見て大満足です。また来年も無事に開催出来るように日々努めていきます。